

(様式3)

第10回 EST交通環境大賞 応募様式

審査の参考とするため、地域の交通環境対策の取組みについて、以下の項目をご記入下さい。

<事業概要>

800字程度

応募する地域の交通環境対策の取組みについて、概要をご記入下さい。

※交通環境対策を実施している地区(市区町村以下)を必要に応じて明示して下さい。

※応募する対策に新規性や独創性があれば、その点も含めてご記入下さい。

である調で、文字数を守り、
注釈をよく読んで記載してく
ださい。

〇〇県△△市では、平成XX年より、地球温暖化防止に向けて市長のイニシアティブのもと、ESTプロジェクトが開始された。ESTプロジェクトでは、過度な自家用自動車の利用から公共交通の利用へ転換することを目的とし、市内に連節バスによるBRTを開通させつつ、市内の各世帯にエコドライブを普及推進させることとなった。△△市では、エコドライブ講習会を3年間で合計7回開催し、合計1000名もの市民にエコドライブを講習、エコモ財団の認証を受けて、エコドライブ証書を手渡した。また、先進環境対応のバスを導入することも重要と考え、市内事業者と協議した結果、合計5台のエコバスを導入することとなった。△△市のバスは、20年前のピーク時に比べ、昨年度は乗車人員が30%減少しており、交通分野の環境対策を推進していくための基盤となる公共交通ネットワークを維持することが必要となっている。そのため、以前より設置されていた地域公共交通会議で検討し、地域公共交通網形成計画を策定した。公共交通と共に、CO2を排出しない自転車の利用促進も重要である。そのため、シェアサイクルの事業者と協議し、△△市の主要駅であるXX駅周辺にシェアサイクルのシステムを導入した。最後に、将来を担う子供に交通環境対策を学んでもらうことは長期的な視点で意味がある。エコモ財団と協力し、市内の3ヶ所で交通環境学習のプログラムを実施し、合計300名の小学生を対象に交通分野の環境問題について授業を行った。

【】、()、『』、「」及び番号①、②…
等で整理をした記載も可能です。

<普及浸透>

400字程度

応募する地域の交通環境対策の取組みが、実施地域でどの程度普及・浸透しているか、
ご記入下さい。

※交通環境対策を実施している人数や実施している頻度など、できる限り定量的にご記入下さい。

【BRT】
連節バスを2台購入し、XX駅から商店・住宅街を通り、A大学やB病院までの路線で一昨年度から運行している。乗車率は70%を超えて、年間20万人が乗車している。

【エコドライブ】
地域の自動車学校と連携し、エコドライブ講習会を3年間で7回、合計1000名に実施し、証書をお渡しした。証書を渡された方々は地域のリーダーとなり、地域ごとのエコドライブ推進活動を行っている。

【EVバス】
EVバスを5台購入し、定期路線で運行している。こちらも乗車率は70%を超えて、年間30万人が乗車している。

【公共交通維持・活性化】
郊外の路線バスや住宅街のコミュニティバス、タクシーの利用が〇%減少し、その対策として地域公共交通網形成計画を策定した。市民から理解が得られるよう、自治会ごとで網計画(案)の説明会を開催し、さらにシンポジウムを開催、350人が参加した。結果、コミュニティバス、タクシーの利用が〇%増加した。

【シェアサイクル】
現時点で、ポートが5ヶ所、100台の自転車でシェアサイクルを運営している。会員は1000名を超え、1日の稼働は2回/台と聞いている。

【交通環境学習】
昨年度は、市内3ヶ所で合計300名の小学生を対象に交通環境学習を実施した。

<経済性>

400字程度

応募する各地域の交通環境対策の取組みについて、収支の概要(主な財源と総費用)をご記入下さい。

※総費用の中で、環境改善に要した費用の算出が可能であれば、総費用とあわせて参考としてご記入下さい。

【BRT】
連節バス購入費用(2台):XXXX万円
※[環境省]二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(低炭素化に向けた公共交通利用転換事業)
△△市一般会計:XXXX万円

【エコドライブ】
自動車学校が自主的に行っている取組
※特別な予算の支出はない

【EVバス】
EVバス購入費用(5台):XXXX万円
※[環境省]二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(先進環境対応トラック・バス導入加速事業)
△△市一般会計:XXXX万円

【公共交通維持・活性化】
地域公共交通網形成計画策定費用:XXX万円
※[国土交通省]地域公共交通確保維持改善事業費補助金
△△市一般会計:XXXX万円

【シェアサイクル】
事業者が自主的に行っている取組
※特別な予算の支出はない

【交通環境学習】
交通環境学習実施費用:XX万円
※[エコモ財団]MM教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度

国等の支援(補助金等)により実
施した取組について、支援機関と
支援の名称を明記してください。

<環境改善量> 400字程度

応募する地域の交通環境対策の取組みにおける、環境改善量を算出し、ご記入下さい。

※環境改善を示す指標としては、CO2やNOx・PM等の環境指標が望ましいですが、環境指標が難しい場合、過度な自家用自動車利用の削減や公共交通の利用増加等に関する指標でも応募は可能です。

※上記指標の単位は、削減された絶対量(例:t-CO2/年、t-CO2/回など)が望ましいですが、絶対量を算定することが困難な場合、削減率(例:%/年、%/回など)等でも応募は可能です。

【BRT】
乗車人員:20万人(●●年度)
※仮にこれらの乗員が自家用車で移動していたと仮定した場合、XXXXt-CO2の削減となる。

【エコドライブ】
受講者数:1000名(●●年度～●●年度)
一部、燃費計でドライバーの燃料使用量を把握した結果、XXki(XXXt-CO2)が削減されていた。

【EVバス】
乗車人員:30万人(●●年度)
XXXt-CO2の削減(●●年度)
※バスがEVではなくディーゼルのままであったと仮定した場合との比較。

【シェアサイクル】
利用回数:7万回(●●年度)
※仮にこれらが自家用車で移動していたと仮定した場合、XXXXt-CO2の削減となる。

【交通環境学習】
効果は将来的に分かるものであり、現時点で定量的な削減量を把握することは難しい。

可能な限り、定量的かつCO2等の環境指標で環境改善量を記入し、公共交通維持・活性化などの定量的な把握が困難な取組に限り、分かる範囲で定性的な改善効果を記入してください。欄に限りがあるため、改善量の根拠(データ・数式等)は別紙(参考資料、様式自由)で提出してください。なお、改善量の根拠を確認するため、応募後、事務局より別紙の提出を求める場合があります。

<地域の持続性> 400字程度

交通環境対策を実施することで、対象となる地域において、副次的な効果として、①中心市街地の活性化等による地域経済への貢献や②地域の安全性の確保、市民の健康・福祉に向けた貢献等があれば、ご記入下さい。※①、②の両方を記載して下さい。

【BRT】
今回、BRTを導入したことによって、XX駅前商店街への歩行者の回遊が高まり、XXXX万円の経済効果があったと言われている。

【エコドライブ】
エコドライブとセーフティドライブは共通点がある。全てがエコドライブ講習の結果か断定はできないが、X市の自家用自動車による死傷事故がXX件減少した。

【EVバス】
EVバスの導入に伴い、2台を周知も兼ねてラッピングバスにし、そのデザインを市内にあるデザイン専門学校に依頼した。このラッピングされたEVバスを市内のイベントで展示した結果、このバスに試乗するために多くの市民がイベントに参加するようになった。

【公共交通維持・活性化】
郊外の路線バスやコミュニティバスは、主に高齢者が利用しており、地域の高齢者の足が確保されることによって、高齢者の健康維持に貢献している。

【シェアサイクル】
今回、シェアサイクルが導入されたことによって、XX駅前商店街への歩行者の回遊が高まり、XXXX万円の経済効果があったと言われている。

【交通環境学習】
授業を受けた小学生が親に学んだ内容を説明し、結果、親子の会話やお出かけのきっかけになっている。

<各主体との適切な連携> 400字程度

交通環境対策を実施するにあたり、実施地域の自治体、交通事業者、地域住民やその他関連する団体等と適切に連携して対策を実施している場合は、その内容をご記入下さい。

【BRT】【EVバス】
事業者(Aバス)と連携し進めている。

【エコドライブ】
地域の教習所や自治体と連携し、取組を進めている。

【公共交通維持・活性化】
△△市地域公共交通会議で公共交通維持・活性化を議論しており、メンバーに国や警察、交通事業者、地域住民の代表が入っている。

【シェアサイクル】
事業者(B社)と連携し進めているほか、地元の商工会にもPRを依頼している。

【交通環境学習】
△△市教育委員会と連携し、市内3校を選定した上で、授業を実施している。

<その他> 400字程度
近年の表彰歴などがあれば、ご記入下さい。

※表彰歴のある取組みについて、その表彰理由が本表彰制度のそれと重複していないことを事務局が確認いたします。(異なった理由であれば、表彰歴のある取組みも表彰の対象となります)

XX年に、〇〇県知事から環境配慮に努力している団体として、努力賞をいただいている。
本年、JCOMM賞に、交通環境学習の内容で応募中。

応募中の内容も記載してください。

